



しいば 議会だより

第77号
平成27年2月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL (0982) 67-3209
FAX (0982) 67-3500
村内無料電話767-0091



松尾児童館

12月定例会……………(2~3)
一般質問……………(4~5)

常任委員会等調査……(6~7)
議会の動き……………(8)

12月定例会

平成26年度一般会計補正予算は、

1784万2千円を減額

総額 **61億1156万9千円**

平成26年度 特別会計補正予算額

会計名称	今回補正額(千円)	補正後(千円)
国民健康保険特別会計	1,494	506,323
簡易水道事業特別会計	7,618	141,207
病院事業特別会計	4,594	535,400
電気事業特別会計	±0	21,844
介護保険特別会計	4,723	371,443
後期高齢者医療特別会計	△961	86,498
ケーブルネットワーク事業特別会計	△218	71,900

12月定例会が11日に開会

- 同意 2件**
- ・椎葉村教育委員会委員の任命につき同意を求めること
…尾前賢了さん(再任)
 - ・椎葉村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること
…黒木芳弘さん(再任)
- 議案 18件**
- ・椎葉村火災予防条例の一部を改正する条例についてほか
- 意見書2件**
- ・公契約法制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書
 - ・山村振興法の延長及び地域林業・地域振興の確立に向けた施策の拡充を求める意見書

以上2件の意見書を採択し、国の関係機関に提出

11月臨時会

平成26年度一般会計補正予算は、

9399万5千円を追加

総額 **61億2941万1千円**

11月21日に第4回臨時会を開会、承認1件と議案10件を審議一般職、特別職の給与、議員報酬の改正ほか

12月臨時会

12月24日に第5回臨時会を開会、議案2件を審議
村営間柏原発電所更新工事(平成24年度継続事業)

変更前 4億6263万円

変更後 5億560万円

契約相手 日本工営(株)

村有財産(山林)の売り払い

場所 内の八重

物件 村行分収造林契約に係る立木全部

面積 21.22ha 樹種 スギ・ヒノキ

価格 1360万8千円

契約相手 耳川広域森林組合



村長に聞く! ~ 一般質問 ~



岡村正司 議員

質問1 地方創生への取り組み

問 国は、地方創生法を設立し2016年3月までに各自治体に地方版総合戦略を作成するよう求め、既に本格的に始動している町村もある。本村はどのように取り組むか伺う。

また、地方創生大臣は、地方特性に即した課題解決、地方の自主的取り組みなど、地方自治体に積極性を求めているが、この点についての村長の見解を伺う。

回答 村長

本村は、第5次長期総合計画で目標とする将来人口を2,300人と定め、これにもとづく人口減少及び少子高齢化対策や集落支援対策を愛響プロジェクトの一つとして位置づけ、各種施策の展開を図っている。

また、地域における就業機会の創出も、25年度に雇用対策室を新設し、村内における新たな雇用の創出及び雇用の確保に関する取り組みを進めている。

平成27年度末までの地方人口ビジョンと地域版の総合戦略の策定が努力義務と課せられているので、各種審議会及び協議会等における専門的な議論を踏まえた上で積極的に取り組んでいく。

質問2 庁舎前の景観対策と書道家の作品展示

問 庁舎前、高齢者センター下のコンクリート壁のスペースに暗さを感じ景観的にも観光客の目をとめる視点からも対策を講じられないか。

対策の一つとして村制施行125周年記念式典時に記念講演で、書道家の矢部澄翔さんが二胡演奏とのパフォーマンスで書かれたすばらしい作品の設置、また空きスペースには伝言板、椎葉観光案内板など創意工夫を持ったものを設置し景観対策、観光集客等につなげてはどうか。

回答 村長

書道家の矢部さん本人の意向により、この作品はあくまでもパフォーマンスとして書かれたもので、展示作品として考えておらず公衆への披露は遠慮いただきたいということで、作品展示は不可能だが、指摘のスペース景観改善は引き続き検討し、来年在平家祭り第30回の節目の年で、それまでには対応したい。



河口吉弘 議員

質問1 日本で最も美しい村連合加盟と世界農業遺産認定を見据えた施策の推進

問 美しい村連合への仲間入りや世界農業遺産認定の実現によって、大きな注目を浴びることに期待を抱き、これらの有形無形の豊富な自然を生かした村づくりの取り組みは、喫緊の課題でもあり、そのために直ちに取組まなければならないこと、中・長期的に施策展開しなければならないこと、より具現化していく必要があると考える。そのためには、村民に徹底した啓発、啓蒙活動を通じ、村民の合意形成を図り村民の心をつなげた体制をつくり上げる以外に実現は困難ではないかと考えるが、この

点についての取り組みを尋ねる。

この機に身近なことについて、二点提案をしたい。

1つは、幹線道周辺及び中心的な観光施設周辺の景観づくりと、景観の阻害要因となっている実態調査、その対策の立案、保全地区としての指定や、景観100選選定など住民参加の取り組みや、椎葉らしさをデザインした案内板等の設置を進める必要があるのではないかと。

次に、既設トイレの洋式化と増設、四阿(あずまや)など休憩所の施設も必要で、特にトイレについては、沿道、観光施設周辺トイレ9カ所について、男女とも洋式トイレが少ない。今すぐ整備に取り組むべきと考えるが、村長の答弁を求めます。

加えて、教育長に、総合グラウンド2カ所のトイレも同様に洋式化のための整備を行う必要があると見え見解を尋ねる。

答 回答 村長

日本で最も美しい村連合は、本年10月に全国で56番目の団体として加盟承認された。椎葉神楽、焼畑農法及び十根川重要伝統的建造物群保存地区が本村の地域資源として高く評価された。

一方、世界農業遺産の認定に向けた取り組みは、国内候補地として選定され、来年度の世界認定に向け、最善を尽くして努力しなければならないと決意を新たにしている。

いずれの取り組みも、先達たちの営みの中から生まれ、今日まで受け継がれてきた自然が高く評価されたもので、村民への啓発活動や気運の情勢を図るとともに、これを契機とする観光的付加価値の向上や村内経済の発展に寄与する取り組みを円滑に進めて行く必要がある。

今後の取り組みは、日本の最も美しい村連合は、九州ブロックあるいは県単位の研修会が予定され、加盟する団体との連携を図りながら、村内への取り組みの浸透を図っていく。

また、世界農業遺産は、村民を対象とする世界農業遺産を活用した地域振興に関する勉強会を開催する予定で、あわせて、現在の伝統的な焼畑農業の継承者、また体験学習を継続している児童・生徒など、焼畑農業の保存、継承に直接かかわっている方々への環境整備も図っていく。

景観計画は、本村を4つのゾーンに分けて、1つは、集落・山なみ景観ゾーン、2つは、幹線・河川景観ゾーン、3つは十根川集落景観拠点、4つは市街地景観拠点、に区分し、歴史や豊かな自然を守り、人と風景がともに育む村づくりを進めることとして、観光スポットの景観整備や花いっぱい運動の展開など、一部は事業展開をしているが、十分な取り組みには至っていない。また、目標とする景観形成を図るために、本計画を具現化するためのアクションプランが必要であると考えます。

現在、第4次の観光振興計画を策定し、また観光プロジェクト実行委員会による計画に向けた取り組みが図られ、景観計画と観光振興計画を包括的に具現化する施策を展開していく。

観光案内板等は、日本で最も美しい村連合の取り組みの中でもユニバーサルデザインへの対応や、サインの統一などが必要とされ、段階的に見直しを図る。

トイレの洋式化は、優先順位を判断しながら改修等について検討する。

日本で最も美しい村連合への加入や世



界農業遺産認定への取り組みを、本村の交流人口拡大の契機と捕らえ、諸施策を積極的に展開していく。

答 回答 教育長

総合運動公園のトイレは、洋式化を図りたい。

質問2

高齢者世帯の生活実態調査の実施

本村で、年金受給者のうち年金収入が50万円以下の高齢者が40%、特に、ひとり暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯では年金を主たる収入とする生活実態は、生活保護基準を大きく下回る厳しい暮らしの実態が伺える。一人一人の詳細な実態調査の実施は、プライベートな問題に足を踏み込むことと心配するが、収入の状況や健康状態、買い物、地域や生活での困りごと、家族親族関係、子供たちや親戚とのつながり、友人及び隣近所関係、外出や社会参加活動の状況、病気やけがなどの緊急時の対応、行政サービスの情報、行政に対する要望など、一人一人の高齢者の生活実態や意識など多岐にわたって詳細に把握し、高齢者、とりわけひとり暮らしや高齢世帯の安心・安全な暮らしづくりに役立てる必要があるのではないかと村長の見解を求める。

答 回答 村長

今後、本村も人口減少と高齢化により20年後には2人に1人が65歳以上、3人に1人が75歳以上になると予想され、そうした高齢者の中には、生活保護の基準額以下の年金受給額、生活に必要な費用を捻出するために節約し、懸命に暮らしている方も承知している。そうした方々の生活実態を調査し、把握することは確かに重要なことと考える。

しかし、個人の収入状況や家族構成など個人情報や例え行政職員でも、法律に定められた行政事務を行う場合のみにその情報を使用することが認められ、それ以外の場合は職員が個人の情報を利用することも閲覧することも禁じられている。

本村では、民生委員の方々を初め介護相談員や傾聴ボランティアである「聴きミミ隊」の皆さんの戸別訪問、さらには昔からの近所つき合いなど住民の方々の状況を把握できる仕組みがある程度備わっており、困ったことや心配事、個人的に相談できる場を設け、各種の懇談会などで意見や要望を聞く機会も用意している。

職員は通常の業務の中でも、高齢者を初め気になる方々の情報を把握できるよう、可能な範囲で細やかに高齢者個々の現状を把握し、安心して安全な生活ができる施策を進めている。



第58回町村議会議長全国大会 (11/12)

東京都

「～町村のさらなる振興発展をめざして～」と題し、「東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議」ほか4件、「森林・林業・山村振興対策の強化」ほか要望事項23件・各地区要望9件について採決・宣言した。

宮崎県町村議会幹部議員研修会(11/20)

宮崎市

「T P Pの影響と課題」について、進藤技術事務所所長より、農業への影響克服の対策が不可欠であり、対策課題について講演が行われた。



議会広報研修会(11/26)

宮崎市

住民に読まれ議会活動が伝わるような、議会広報の役割と在り方などを、広報コンサルタントの芳野氏より講演を受けた。広報を活用した議会への関心と住民参加が図られるような議会だよりを編集していきたい。

三村議会協議会設立総会(12/16)

椎葉村

平成7年の合併特例法の改正により、市町村数が3234市町村から1821に、本県も44市町村から26市町村に減少した。村は7村から3村になり、人口減少・少子高齢化・観光・産業振興等、共通した様々の問題解決を図るため、椎葉・諸塚・西米良の三村議会協議会を設立発足し、行政も参加して定期的に交流会と過疎対策に取り組むこととした。



星塚敬愛園訪問(12/18)

鹿屋市

村出身者が1名となり、毎年、椎葉村から顔を見に来てもらえる事がとても楽しみと話されていました。

前回お会いしたときは、歩いていましたが、足が痛くなり、ベット、車椅子の生活を余儀なくされていましたが、元気に素敵なお顔を、今は周囲の方々にとっても親切にいただきありがたく、あの頃の差別、強制労働をしいられて亡くなった方達に、今のこの幸せな生活をさせてあげたいと、何度も話されたのがとても心に残りました。

今度訪問するときは、同級生、知人、神楽などの写真などを持参して、喜んでいただけるようにしたいと思います。

中国木材日向工場や木質バイオマス発電所を視察(12/18)

日向市・都農町

中国木材日向工場は、製材、乾燥材、集成材やプレカット材の製造販売など、国産材輸出時代を見据えて幅広く事業展開。又、工場内で発生するおが屑を利用して、効率的なバイオマス発電事業(18,000kw)も展開する。木材需要7,000m³/月は県森連が供給。



都農町グリーンバイオマスファクトリーは、発電用燃料(5,750kw)は山林内未利用材をチップ化して利用。スギ、ヒノキを日量200トンについて県信連と協定締結。枝葉、根茎、竹等はボイラーに影響を及ぼすため利用しない。

発電量は5,750kw(木質バイオマス燃料使用量日量200トン)。C材、曲がり材、枝葉、竹など山にある物は何でも燃料化する。山側に一定のまとまり(20m²程度)があれば破碎機等を現場に入れ、チップ化して集荷も可能。写真は破碎機で全木チップ化して積み込む作業実演。



中国木材の日向市進出や木質バイオマス発電による原木需要によって、事業者、山側ともに関心が高まってきている。買取価格についての課題もあるが、隣地残材の有効活用の好機でもある。そのためには、中間土場整備や破碎機等の導入、輸送システムの高知器などの課題解決を図ると共に、収穫、造林の木材再生産システムの維持は不可欠である。

尾向公民館と産業福祉常任委員会で宮崎北部森林管理署へ合同要望(1/27)

日向市

国有林内の森林整備、災害に強い山づくりの推進と、村道椎葉矢部線の改良工事、治山事業等の推進を要望した。その後尾向公民館と地元議員で東臼杵農林振興局長へも要望活動を行った。



時局講演会(1/28)

木城町

オ

「なぜ日韓は和解しえないのか」拓殖大学 呉教授より日本人特有の曖昧さは人ととの親和で平穏な関係を生み出し、他の国の人たちには見られない利点がある。日韓の国民性・文化の違い、日本人の特性などをユーモアを交えた講演が行われた。

議会の動き

11月	4日	宮崎県北部広域行政事務組合議会 宮崎県文化賞授賞式	延岡市 宮崎市
	6-7日	市町村議会議員アカデミー研修会	千葉市
	7-9日	平家まつり	上椎葉
	10-11日	地方議会活性化シンポジウム2014	東京都
	11日	日向東白杵広域連合議会	日向市
	12日	第58回町村議会議長全国大会	東京都
	13-14日	東白杵郡町村議会議長会政務調査	新潟県
	15日	椎葉村PTA・家庭教育学級合同研究大会	開発センター
	20日	宮崎県町村議会幹部議員研修会	宮崎市
	21日	第4回臨時議会	議場
	25-26日	例月監査	監査委員室
	25日	日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会議員研修会	日向市
	26日	議会広報研修会	宮崎市
	27日	宮崎県町村議会議長会役員会	高原町
12月	1日	国道388号日平バイパス(美郷トンネル)開通式 宮崎県森林・林業活性化研究委員会	美郷町 都農町
	2日	入郷地区衛生組合議会 東白杵郡町村議会議長会臨時会	美郷町 日向市
	4日	議会運営委員会 椎葉村第7次高齢者福祉計画・第6次介護保険事業計画策定委員会	委員会室 すこやか館
	8日	病院運営協議会 宮崎県町村議会議長会役員会	役場会議室 宮崎市
	11日	12月議会定例会	議場
	16日	宮崎県三村議会協議会設立総会	役場会議室
	18日	森林盛ネットワーク視察研修 星塚敬愛園訪問	日向市 鹿屋市
	24日	第5回臨時議会	議場
	24-25日	例月監査	監査委員室
	25日	宮崎県市町村総合事務組合議会定例会	宮崎市
	1月	4日	椎葉村成人式
6日		椎葉村消防出初式	椎葉小グラウンド
7日		新春賀詞交歓会	開発センター
11日		第5回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会開会式	宮崎市
19日		九州各県町村議会議長会会長会	長崎市
26-27日		例月監査	監査委員室
27日		宮崎北部森林管理署へ尾向公民館と合同要望活動	日向市
28日		集落支援及び福祉施設整備特別委員会 時局講演会	役場会議室 木城町
29-30日		東白杵郡町村監査委員研修会	玖珠町

議会を傍聴 しませんか？

3月定例会は、3月10日開会予定
となっています。

《お問い合わせは議会事務局》

TEL 67-3209 FAX 67-3500

議会だよりは村ホームページでも
ご覧いただけます。

編集後記

私どもの任期も3月10日開会の3月定例会を残すのみとなりました。現在、価格は取り戻しつつあるものの、椎茸価格の低迷や2年前の木材価格急落など厳しい状況を体験しましたが、学校施設の整備、ヘリポートの整備や役場庁舎新築、「日本で最も美しい村連合」加盟、「世界農業遺産」国内候補地認定など、将来に向けて大きな飛躍と希望を見いだした4年間ではなかったかと思えます。

年4回の「議会だより」で議会情報を十分お伝えすることができたか心配していますが、反省もしながらつぎに向けての糧にしたいと思います。

河口吉弘

「議会だより編集委員会」

委員長 椎葉芳一 右田静男 河口吉弘 岡村正司 那須清 椎葉邦博